

2014 年度

* 講師の所属等は開催年度当時のものです。

①施設見学ツアー

一人ひとりの能力を最大限に活用できる方法を模索し、創作活動に取り組んでいる関西の4つの施設を訪問します。アトリエやギャラリーを見学し、施設長や担当スタッフの方の創作活動に対する信念や運営方法を伺います。単回のみのご参加も可能です。

<第1回>

日時：2014年12月11日（木）

見学先：あおはにの家（奈良）／やまなみ工房（滋賀）

定員：各10名

締切：12月5日（金）

<第2回>

日時：2015年1月30日（金）

見学先：アトリエコーナス（大阪）／片山工房（兵庫）

定員：各10名

締切：1月20日（火）

[施設紹介]

社会福祉法人青葉仁会

ひとりひとりの能力・興味にあわせて創作活動をしている「アート班」。絵画作品は展覧会へ出展したり、商品モチーフに展開したりと広く社会へとアピールをしています。

社会福祉法人やまなみ会やまなみ工房

甲賀市ののどかな山間にある「やまなみ工房」。絵画や粘土、刺繍など様々な活動をしています。いきいきとありのままに過ごすことのできるアートスペースです。

NPO 法人コーナス アトリエコーナス

大阪阿倍野区の住宅地にある民家を改装したアトリエです。地域に根差した活動をしています。美術館やギャラリーからの出展依頼など国内外から注目されています。

NPO 法人100年福祉会 片山工房

絵画・書・水彩・油絵・版画等、アート(表現)活動全般を行っています。「人が軸」をテーマに創作のよしあしではなく、「何かをしたい」人を受け入れる工房です。

②インターンシップ

実践現場を体験する 3 日間のインターンシップを行います。たんぼぼの家では、障害のある人、1人ひとりに向き合ったアート活動の支援をしています。制作環境や仕組みづくりを体験します。

日時：1月15日（木）9：30～19：00

1月16日（金）9：30～17：00

1月17日（土）9：30～12：00

研修先：たんぼぼの家 アートセンターHANA

定員：5名

締切：12月20日（土）

[プログラム]

1日目

スタジオに入りながら障害の特性にあわせた環境づくり、画材や自助具の工夫を学びます。参加者やたんぼぼの家のスタッフと情報交換する交流会を行います。

2日目

身体表現とコミュニケーション、ケアとアートの関わりを学びます。作品の記録、管理方法について学びます。作品の額装や展示について学びます。

3日目

グループディスカッションで振り返ります。

[施設紹介]

社会福祉法人わたぼうしの会 たんぼぼの家アートセンターHANA

すべての人がアートを通じて自由に自分を表現したり、互いの感性を交感することができるコミュニティ・アートセンター。障害のある人たちが個性をいかしながら表現活動に取り組むスタジオ、コミュニティにひらかれたギャラリーやカフェ&ショップなどがあります。

③セミナー「創作環境を整える」「発表の機会をつくる」

アートをとおして福祉施設がより魅力的になるよう、創作活動に必要な仕組み、環境、また展覧会や商品展開などのアウトプットの方法を学ぶセミナーを開催します。さまざまな分

野の講師を迎え、先駆的な事例を元に福祉施設におけるアートマネジメントの基礎を学びます。

日時：1月17日（土）13:30～17:00

1月18日（日）13:30～17:00

会場：たんぼぼの家アートセンターHANA

定員：30名

締切：1月10日（土）

[プログラム]

17日（土）「創作環境を整える」

テーマ① なぜ芸術活動をおこなうのか

テーマ② 多様な障害を支える環境づくり

テーマ③ アートとコミュニケーション

18日（日）「発表の機会をつくる」

テーマ① 展覧会を企画する

テーマ② 魅力的に作品を見せる

テーマ③ 作家・作品をプロモーションする

④みんなでつくる展覧会

来場者が、面白い！感動した！と思う魅力的な展覧会づくりを体験します。展覧会をつくる上で、重要なポイントや、展示の工夫やコツを学びながら、みなさんで展覧会をつくります。展覧会は奈良県北部と中南部の2ヵ所で巡回します。

日時

<1回目> 12月6日（土）16:00～18:00

<2回目> 12月18日（木）18:00～20:00

<3回目> 1月9日（金）18:00～20:00

会場：たんぼぼの家アートセンターHANA

定員：10名

締切：11月30日（日）

講座内容：

- ガイダンスや展覧会についての情報交換
- 概要・コンセプトづくり
- 展示プラン・DM作成・広報について

[講師・展覧会監修]

森口ゆたか（美術家／NPO 法人アーツプロジェクト代表）

アートの中で病院などの医療環境をより快適な癒しの空間とする「ホスピタルアート」活動を行う、NPO 法人アーツプロジェクト理事長。1986 年の個展を皮切りに、ほぼ毎年個展を開催し、2011 年 4 月～6 月徳島県立近代美術館にて個展「森口ゆたかーあなたの心に手をさしのべて」を開催する。

[展覧会]

会場 1：アートスペース上三条（奈良市）

搬入・展示：2 月 16 日（月）

会期：2 月 17 日（火）～22 日（日）

会場 2：かしはら万葉ホール（橿原市）

搬入・展示：2 月 26 日（木）

会期：2 月 27 日（金）～3 月 1 日（日）

⑤セミナー「アートと著作権」

本セミナーでは、作品を展示するとき、販売するとき、商品に展開するときなどに生じる著作権について学びます。専門家の話や福祉施設や多様な取り組みの事例から、著作権に関する知識を身に付け、障害のある人の表現や個人の尊厳を守る方法について学び合いたいと思います。弁護士をゲストに迎えた質疑応答の時間では、みなさんが疑問に思っていることについてもご質問いただけます。

参加費：無料

定員：各回 30 人

<第 1 回> 基礎知識編

障害のある人のアート活動に関わる基礎的な著作権の知識を、専門家のレクチャーと福祉施設での事例報告をとおり、学びます。著作権や成年後年制度とは何か、権利を守り表現を社会につなぐためには何が必要かをお話します。

日時：2015年2月19日（木）18：00～20：00

会場：アートスペース上三条（奈良市上三条町4／近鉄奈良駅から徒歩5分）

プログラム：

「障害のある人のアートと著作権について——専門的視点から」

田中啓義（弁護士、登大路総合法律事務所）

「福祉施設におけるアート活動と著作権について——現場の視点から」

藤井克英（たんぽぽの家アートセンターHANA ワークプログラム・コーディネーター）

質疑応答／ディスカッション

<第2回> 展示・発表編

アート作品を社会に発表していくときに必要となる知識を、アートマネジメント、アートビジネスの視点から学びます。作家を支援するとはどういうことか、展示・販売に際し作家とギャラリーはどういった契約を結ぶのかなどについてお話します。

日時：2月28日（土）15：00～17：00

会場：かしはら万葉ホール展示ギャラリー（橿原市小房町11番5号／近鉄畝傍御陵前駅から徒歩約15分）

プログラム：

「作家の支援と作品の販売について——ギャラリストの視点から」

野村ヨシノリ（gallery OUT of PLACE）

質疑応答／ディスカッション

田中啓義（弁護士、登大路総合法律事務所）さんも参加

<第3回> 二次使用・商品化編

アート作品の二次使用、商品化に関わる著作権の知識を、商品開発・販売プロジェクトの実例をとおし学びます。障害のある人のアートを用いて商品をつくる際に、何を大切にして、どのような契約を結ぶのかについてお話します。

日時：2015年3月10日（火）18：00～20：00（受付：17：30～）

会場：たんぽぽの家アートセンターHANA2F ミーティングルーム（奈良市六条西3-25-4／奈良交通「西の京高校」バス停より徒歩3分）

プログラム：

「障害のある人がアートを仕事にできる環境づくりについて——中間支援組織の視点から」

エイブルアート・カンパニー

「コラボレーションと著作権について——企業の視点から」

芦田晃人（株式会社フェリシモ C.C.P 「UNICOLART（ユニカラート）」代表）

質疑応答／ディスカッション

・田中啓義（弁護士、登大路総合法律事務所）さんも参加

⑥展覧会&トークセッション

奈良の障害のある人たちの作品を紹介します。人はなぜ表現するのか。その表現を私たちはどう受け止めるのか。展覧会とともにさまざまな立場の人たちによるトークをとおり、多様な視点、「もうひとつの見方」の可能性について話し合いたいと思います。

<展覧会>

会期：3月20日（金）～22日（日） 10:00～17:00（最終日は15時まで）

会場：東大寺総合文化センター 小ホール

出展者：伊藤樹里、澤井玲衣子、高田千恵子、武田佳子、中村真由美、藤田雄、古谷秀男、
山崎康史、山野将志、若枚大介

<トークセッション>

■3月20日（金）

13:00～14:30 報告『『障害とアートの相談室』から』

今年度取り組んだ奈良の障害のある人たちの創作活動の調査や相談支援について、関わったアーティストやスタッフが振り返ります。

- ・太田啓子（立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員）
- ・岡崎潤（デザイナー）
- ・前川紘士（美術作家）
- ・森下静香（一般財団法人たんぼぼの家）

15:00～16:30 トーク「表現を伝える」

表現を社会に伝えるのに大切なことは？発信や共有に必要なことを、本展に関わった人たちとの具体的な事例から考えます。

- ・多田智美（編集者・MUESUM）
- ・森口ゆたか（美術家・NPO 法人アーツプロジェクト代表）
- ・宮下忠也（アートディレクター）

■3月21日（土）

10:00～12:00 ワークショップ「こどものてつがく美術館」 ※小学生と保護者での参加
15組まで

アートには何かを発見していく楽しみがあります。子どもたちと作品を見ながら、対話をとおして表現について考えます。

- ・ファシリテート：高橋綾（大阪大学コミュニケーションデザインセンター 招聘教員）
- ・阿部こずえ（一般財団法人たんぼぼの家）

13:00~14:30 トーク「個性が開く現場から」

障害のある人はどんな気持ちで作品と向き合っているのか。そのサポートはどんなものなのか。本展出展者とサポーターから話を聞きます。

・山野将志（アーティスト）、吉永朋希（（社福）たんぽぽの家アートセンターHANA、高田千恵子（アーティスト）、小野寺聡（（社福）在友会フレンズまきばあぐりアトリエ創佳舎）、藤田雄（アーティスト）、中谷有香（（社福）青葉仁会）

15:00~16:30 「わたしにはこう見えます」

障害のある人の表現はどう見える？学芸員やギャラリスト、コレクターの視点から作品をどう見て、どう受けとめているのか、お話をうかがいます。

- ・平田剛志（京都国立近代美術館 研究補佐員）
- ・野村ヨシノリ（Gallery OUT of PLACE 代表）
- ・川上文雄（奈良教育大学 教員）

■3月22日（日）

10:00~12:00 トーク「アートの可能性～教育・ケア・地域～」

障害のある人のアートの可能性とは何か。豊かな社会づくりに向けて、その役割を広げていく実践を報告します。

- ・安田奈津希（奈良東養護学校 教諭）
- ・西尾美也（アーティスト）
- ・岡部太郎（一般財団法人たんぽぽの家）